

ここからはじめるやさしいまなびの講座 「自分を表現する文章講座」



佐賀大学ウェルビーイング創造センター
久野櫻希子

まずは自己紹介



久野櫻希子です。

愛知県常滑市出身。知多半島にずっと住んでいて、昨年秋、佐賀に引っ越しました。

佐賀大学では、学生の皆さんの大学での学びに関する困りごとをサポートしています。

これまで、レポートの書き方など文章表現の授業も行なってきました。

今日の内容

- “分かりやすく伝える”ことの大切さ、この講座で目指す文章
- 分かりやすい文章を書くコツ
 - ①テーマを絞る
 - ②パラグラフ・ライティング
 - ③情報の量に気をつける
- 実践：自分のことを文章で表現してみましよう
- まとめ

“分かりやすく伝える”ことの大切さ

- この講座では、分かりやすい文章の書き方を学びます。自分の気持ちや考えを言葉にすることは、日々の様々な場面でとても役立ちます。
- **仕事を探すとき…**履歴書の自己PRや志望動機など、自分の言葉で自分らしさを伝えられると、少し自信を持って一步を踏み出せるかもしれません。
- **家族や友人へのメッセージ、SNSでのちょっとした発信…**伝えたいことを整理して書けると、やり取りが楽になります。自分の気持ちがずっと伝わると嬉しいですね。

この講座で目指す文章

“読み手が興味を持ち、話すきっかけになるような、魅力的な自己紹介文”

自分がどのような人であるかが伝わる自己紹介の文章をじっくり考えて書いてみましょう。

書く目的：「好きなもの」という親しみやすい話題を手掛かりに、自分について書いてみる。

読み手：自分のことを詳しく知らない人、自分の好きなものについて詳しく知らない人。

◎この講座を通して、社会の様々な場面で使えるスキルを学び、書くことで自分を表現する楽しさを一緒に体験してみましょう！

分かりやすい文章を書くコツ①テーマを絞る

テーマを一つに絞って書く。自分を知ってもらうのに有効で、興味を持ってもらえそうな話題を選ぶ。

【テーマの例】

- 好きなもの（音楽、本、ゲーム、漫画、映画、推し、動物、キャラクター、食べ物）
- 出身地
- 趣味・特技
- 好きなこと・習慣

分かりやすい文章を書くコツ①テーマを絞る

決めたテーマについて、少し詳しく説明する。
理由や感想、具体例などエピソードを加える。

好きなものなら…

- それはどんなものか？
- どんなところが好きなのか？
- いつから、何がきっかけで好きになったのか？
- おすすめの楽しみ方は？
- 一緒にできる人がいたら声をかけてください、教えてください！（読み手へのメッセージ）

分かりやすい文章を書くコツ②パラグラフ・ライティング

- ・パラグラフとは、1つの目的に対応した文章のまとまりの単位。段落。
- ・パラグラフ・ライティングでは、構成している文の一文一文に**明確な役割分担がある**。
- ・1つのパラグラフは**1つの話題とその説明**によって構成される。1パラグラフ1トピック。

パラグラフ・ライティングに必要な要素

中心文（トピック・センテンス）：一文目。そのパラグラフの話題や一番言いたいことを簡潔に表す。このパラグラフで何を述べようとしているのか、読み手に示す。

支持文（サポーティング・センテンス）：トピック・センテンスで提示した内容を展開する。言葉の説明、具体例、理由、エピソードなどを書く。分量は最も多くなる。詳しく述べることにより、読み手を納得させる。

結び文（コンクルーディング・センテンス）：パラグラフの最後に置き、伝えたいトピックを再び強調したり、まとめたりする。

パラグラフ・ライティングに必要な要素

中心文

支持文
(公園の説明、具
体的な楽しみ方)

結び文

私の趣味は、休日に近所の公園を散歩することです。この公園には隣接して図書館があり、大きな木々が並んでいる場所が私のお気に入りです。歩きながら季節ごとに変わる空気や木々の様子を感じられるのが、何よりの楽しみです。散歩の後には、図書館の中にあるカフェに立ち寄り、ゆっくりと休む時間が好きです。散歩は私にとって心と体をリフレッシュさせる、大切な時間となっています。



パラグラフ・ライティングの利点

- 書き手にとって

型に沿った構成になるため、文章全体が整理され、読みやすくなる。パラグラフの目的・内容を明確にして書き進めるため、無駄な情報が入り込んだり、話の方向性を見失ったりすることを防げる。

- 読み手にとって

何を伝えたい文章であるのかが明確になり、内容を理解しやすくなる。続く文章の内容に見通しを持ちながら読み進めることができる。

分かりやすい文章を書くコツ③情報の量に気をつける

- 相手にとって情報が多すぎる／少なすぎる（どちらも混乱を招く）ことはないか、考えてみる。
- 誰に向けて書く文章かをよく確認し、相手が知りたいことや興味を持ちそうなことを想像して情報を選ぶ。
- 自分が伝えたいことと相手が知りたいことのバランスを取ることも大切。

情報の量に気をつける

中心文

支持文

結び文

私が好きな歌手は、松田聖子さんです。皆さんも「赤いスイートピー」や「瑠璃色の地球」は聴いたことがあるかもしれません。透明感のある綺麗な歌声はもちろん、巧みな歌詞と、楽しい気分になるような軽快なメロディーも、彼女の音楽の魅力だと思います。数ある曲の中でも、私のおすすめは「マイアミ午前5時」です。タイトルの通り、夏の夜明けの情景が浮かんでくるようなイントロと少し切ない歌詞が特徴で、今の季節にぴったりです。ぜひ聴いてみてください。有名な曲以外にも名曲がたくさんあるところに、松田聖子さんの魅力を感じています。

支持文のポイント

- ・ 詳しく知らない人でも分かりそうな曲を挙げる。
- ・ 曲の良さに絞って好きなポイントを説明。
- ・ おすすめは1曲に絞り、相手が曲を聞いてみたくなるような理由を添える。

実践タイム

3つのコツを意識して、自分のことを文章で表現してみましょう。

- “読み手が興味を持ち、話すきっかけになるような、魅力的な自己紹介文”
- テーマを一つに絞る
- パラグラフ・ライティングを意識する（一文目で一番言いたいことを書き、その後詳しい説明を加え、最後に再び強調する）
- テーマについて詳しくない人に向けて、情報の量に気をつけながら書く。

まとめ

- 分かりやすく伝える＝相手のことを考えながら伝える。
- 今日の内容は「書く」ときだけでなく「話す」ときにも有効。
- 人に向けて書くと、よく知っていることでも新たな発見があることも。